

武久頭也市長から



行政報告(要旨)

はじめに

現在、地方創生の具体的な取り組みを検討していますが、地方創生の議論の中では人口減少問題、東京一極集中の問題などが主要テーマとして挙げられています。本市では、他の地域と切磋琢磨しな

がらも、瀬戸内市の暮らしの豊かさを実現していくことが重要と考えています。暮らしの豊かさに関連して、社会関係資本(ソーシャル・キャピタル)という概念があります。社会関係資本とは、端的に言えば「まちづくりに関わっていく自発的団体の多様さ」「地域全体の人間関係の豊かさ」などを意味し、いわば地域の方であり、社会の結束力とも言えます。市民同士のコミュニケーションの密度や、市民と行政との協働が活発であるほど、豊かな社会が形成されるという考えです。

地方創生の新たな取り組みでは、市役所が率先して、個人にとって住みややすさや出産、子育てのしやすさを高めること、定住や結婚を考えるためのきっかけをつくることも必要です。しかし、それら

に加えて、社会関係資本の考え方に基づき、市民の皆さん自らが主体的に関わり、自分の暮らしに対する意欲を持つことができるまちをつくるということがさらに重要です。そのために必要な市の役割を見極めながら、まちづくりや地方創生に取り組んでいきたいと考えています。

総合教育会議

地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長と教育委員会との連携強化を目的とした「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が4月1日に施行されたことに伴い、本市においても「総合教育会議」を設置し、第1回の会議を5月27日に開催しました。

第1回の会議においては、会議の運営方法や、今回の法律改正により策定を義務付けられた、教育に関する「大綱」の策定方針などについて協議を行いました。今後は、この大綱をもとに、総合教育会議において、教育委員会と十分な意思疎通を図り、地域の教育のあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進していきます。



第1回総合教育会議

用語の解説・備考

総合教育会議
市長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策などについて協議・調整を行う会議。
会議は、市長、教育長および教育委員で構成され、市長が招集することとされている。

まち・ひと・しごと創生

「まち(国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成)」「ひと(地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保)」「しごと(地域における魅力ある多様な就業の機会の創出)」を一体的に推進すること。

総合戦略

日本の人口の現状と将来

地方創生の取り組み

本市における「まち・ひと・しごと創生法」に基づく地方創生の取り組みについては、これまでに3回の「瀬戸内市太陽のまち創生本部会議」を開催し、「総合戦略(骨子素案)」を提示し、組織内での意見集約を行っているところです。

骨子素案には、国の総合戦略を勘案した上で基本的な目標を設定しており、今後、具体的な方向性や施策を示していきます。また、庁内プロジェクトチームで検討・協議を行いながら、具体的な案を「産官学金労言」の分野の人で構成する「有識者会議」に示しつつ、総合戦略策定作業を進めていくこととしています。

生活相談支援センターの開設

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、4月1日に生活困窮者自立支援法が施行されました。相談者に対して専門職によ

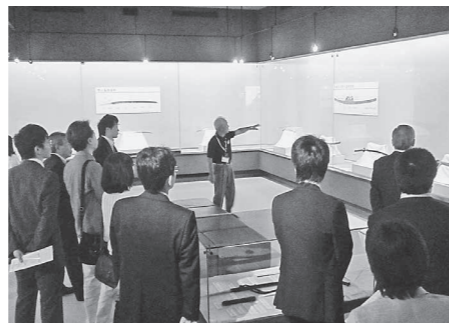
る継続的な支援を効果的に行うため、自立相談支援事業と家計相談支援事業についての事務を瀬戸内市社会福祉協議会に委託しました。

瀬戸内市社会福祉協議会では、4月1日に「生活相談支援センター」を開設し、社会福祉士による相談体制を整えています。5月末までの2カ月で23人の相談があり、必要性を強く感じるとともに、今後も機能の充実が重要であると認識しています。

DESTINEーション キャンペーンの進捗状況

平成28年春(4~6月)に大型観光キャンペーンのDESTINEーションキャンペーンの開催されます。

5月20日、岡山市で全国の旅行会社などを集めた全国販売促進会議が開催されました。本市もその会場において刀作りの実演やご当地グルメの試食を行ったほか、観光パンフレット配布やブランド認定商品の展示を行いました。



ガイドの案内で備前長船刀剣博物館を見学

会議の翌日には、視察の受け入れを行い、備前おさふね刀剣の里や牛窓オリーブ園、黒島ウィーナスロードなど、市の観光の魅力について実際に体感してもらいました。

7月からは本番を見据えたプレキャンペーンが開催されますが、今後も地域の人と連携しながら、受入態勢の整備や情報発信に努め、平成28年春に向けた準備、PRを進めていきます。

附属牛窓診療所の休診

瀬戸内市民病院附属牛窓診療所については、施設・設備の老朽化と医師、看護師など



7月から休診する附属牛窓診療所

の継続的な確保が困難な状況であり、特に電気設備の老朽化が著しく、運営に支障をきたしています。突発的な事故の際に患者の安全を確保するため、やむを得ず本年7月から休診することとしました。現在、市長の諮問機関である瀬戸内市立病院等運営審議会を開催し、休診後の附属牛窓診療所の運営について議論しています。

また、通院患者の皆さんに市民病院を受診してもらうための交通手段として、水曜日を除く平日週4日間で1日3往復のジャンボタクシーの運行を検討しています。

生活相談支援センター
生活困窮者に対する生活全般にわたる相談窓口。専門の支援員が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行う。

DESTINEーションキャンペーン
DESTINEーション(目的的地)とキャンペーン(宣伝)の合成語で、JR6社と地方自治体、観光事業者などがタイアップ(協力・提携)して行う大型観光キャンペーン。



瀬戸内市の特定保健指導は「無料」になりました

- ◎自己負担 500 ~ 1,000 円が無料に！（実費の場合、1万円前後かかります）
- ◎血液検査や腹部CT（積極的支援のみ）も無料で実施！（★市独自のサービス）
- ◎ライフスタイルに合わせて、特定保健指導の受け方を選べます！

あなたのための特定保健指導

市が実施する、40～74歳の瀬戸内市国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査（特定健診）が、6月から始まりました。

特定健診の結果、メタボの危険がある人は、生活習慣病予防の取り組みを積極的にすすめる「特定保健指導」を受けることができます。

保健師や管理栄養士が、半年間1対1で、あなただけの、あなたのための保健指導を行います。1対1の個別指導が苦手な人には、グループでの指導もあります。

※市の特定健診を受診した人で、メタボの危険があり、「特定保健指導対象者」に該当する人には、案内を個別で郵送しています。案内が届いた人は、必ず内容を確認してください。後日、市の保健師が訪問または電話で保健指導について説明します。

ライフスタイルに合わせて選べます

「半年間、1対1での指導はしんどい」「自分の行きたいときに指導を受けたい」と、保健指導の受け方については、いろいろな希望をお聞きます。

できるだけ、皆さんの要望に添えるために、以下の三つの保健指導を用意していますので、自分に合った保健指導を受けるようにしましょう。

☆個別での保健指導の内容例☆

- 面接（2回）
近くの公民館やコミュニティセンターなどで最初と最後に実施。
- 電話または手紙（3回）
取り組みの様子をお聞きします。
- 血液検査（1回）
最終面接前に実施して成果を確認します。

▽保健指導の内容など

こんな人におすすめ	名称	保健指導の内容	備考
とにかく忙しい人へ	スマート保健指導	集団健診の会場で、結果により特定保健指導対象者の可能性が高い人に、健診直後、初回面接をすぐに実施します。	集団健診の会場で、特定健診を受ける必要があります。
1対1でしっかりサポートしてほしい！	個別保健指導	市の保健師または管理栄養士が近くの公民館やコミュニティセンターまで出向いて指導します。	希望で市内の医療機関で受けることもできます（要相談）。
気軽にみんなで指導を受けたい！	健康カフェ	偶数月の第1火曜日に、健康教室の形で開催しています。参加費は不要です（家族・知人も参加可能）。	1時間30分の内容で、健康の話、食事の話、手軽にできる体操と、いろいろ行っています。

健康カフェオープン♪

普段、なかなか健康について話す機会が少ないと思いませんか。短い時間ですが、皆さんで気軽に楽しく健康についてお話ししたり、体を動かしたりしてみませんか。

参加費は不要です。お気軽にご参加ください。

▽日時 8月4日、10月6日、12月1日、平成28年2月2日（いずれも火曜日）

午前10時～午前11時30分（午前9時30分受付開始）

▽場所 ゆめトピア長船

▽対象 瀬戸内市民

※動きやすい服装でお越しください。

※準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

国民市民課

☎0869・24・7096



柴崎伸次教育長から

行政報告（要旨）

はじめに

4月に就任して以来、2カ月が過ぎました。この間、特に感心したことは、子どもたちが大変よくあいさつをすることです。あいさつは人間関係づくりの基本です。学校はもとより地域や関係機関の皆さんのご指導、ご協力あつてのことと思っています。

学校教育に関して言えば、子どもたちが夢や希望を持って楽しく学ぶ、それを念頭に置いて取り組んでいきたいと

考えています。本市においては、特に学力の向上と不登校など生徒指導上の課題への対応が必要であり、少人数指導、ICT活用など学習環境の改善により、その充実を図っていますが、この取り組みを今後とも推進していきたいと考えています。

社会教育などについては、あらゆる年代の人が学びたいときに学び、そして生きがいにつながるべく環境が必要で、現在建設中の新図書館をはじめ、公民館などにおける教育機会の充実に向け、地域コミュニティの活性化を図りたいと考えています。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律の施行に伴い、4月から新たな教育委員会制度を開始しています。市長と教育委員会が構成する総合教育会議において、教育に関する「大綱」の策定を進めており、本市の教育政策に関する方向性が明確化されまます。この方向性を踏まえ、教育行政を進めていきます。

35人学級対応臨時雇用事業

この事業は、「太陽のまち基金」により、小学校のすべての学級を35人以下で編制するための講師を採用するものです。

事業実施により、本年度4月から35人学級の対象となっていた久小小学校3年生、4年生、6年生と国府小学校の3年生、4年生の合わせて5学級について35人学級を実現することができました。

これにより、市内小学校の1年生から6年生までのすべての学級において、35人学級を継続的に実施することが可能となり、学力向上や生徒指導上の諸問題の改善を図っていきます。

ICT利活用促進事業

平成26年度にタブレット型コンピュータを全教諭に配付し、活用をスタートしました。さらに本年度は、タブレット型コンピュータの利活用を促



タブレット型コンピュータを活用した授業風景

進するため、「太陽のまち基金」により、小中学校の授業で使用している教科書に準拠した各教科のデジタル教科書や予習、復習に効果的なプリント問題を収録したデジタル教材、環境教育に係るデジタル教材の整備を進めていきます。

デジタル教科書は、音声や動画による説明や画面に書き込みができるなどの多彩な機能があります。効果的な活用により、児童生徒の学習意欲を高め、わかりやすい授業の実現を図っていきます。

太陽のまち基金

メガソーラー事業体からの錦海塩田跡地貸付料収入を原資とした基金。この「太陽のまち基金」を活用した「まちづくり事業」では、太陽のまちプロジェクトのまちづくり実施方針に基づき提案のあった「小学校35人学級化」「小中学校デジタル教材活用」「市道錦海師楽線外整備」「不育治療費助成」の4事業に対し、3,700万円の特別枠を充てる。

タブレット型コンピュータ
液晶ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載し、ペンや指で操作する携帯可能なパーソナルコンピュータ。

デジタル教科書（教材）
教科書や教材などの内容（音声や動画を含む）をデジタル化し、タブレット型コンピュータなどで読むことができるようにしたものの。デジタル教科書（教材）の内容を電子黒板やスクリーンに表示して、授業で活用することができる。